順位は選出順位

GP special

BOAT RACE 住之江 実況 0180・996456 結果 0180・996123
THE WINNER OF "FIVE LARGEST SG RACES" GRANDES
34th グランプリ THE GRAND PRIX
http://www.boatrace-suminoe.jp/ 電投番号12

住之江で史上初ナイター「グランプリ」17日開幕

1位 毒島

3年連続6回目

またもナイター！
メモリアルでSGV5

ナイターグランプリを制するのは誰だ!?「SG第34回グランプリ」は12月17日に住之江ボートで開幕。令和最初の1億円バトルは、史上初のナイター開催となる。賞金ランク上位18人の猛者が浪速の夜を焦がす6日間から、目が離せない。

今年こそ頂点!!

2年連続賞金ランク1位 得意な夜で昨年の雪辱だ

エンジン次第!!

ナイター初の頂上決戦の主役はこの男しかいない!! 昨年、若松オーシャンC、まるがめメモリアルとSGを連続優勝した毒島は今年も、SG連続優勝の離れ業。堂々、2年連続賞金ランク1位で、6回目の頂上決戦に臨む。

「序盤はよくなかったんですけど、オーシャンCで久々にいいエンジンを引けて、エンジンさえ出せれば上に進めるんだと再認識できました」

上半期の特別戦の優出は3月の津66周年（6着）1回だけと賞金レースは出遅れた。しかし、とこなめオーシャンCの優出（3着）で流れを引き寄せると、大村メモリアルで大会連覇を達成。SG初優勝の2013年まるがめメモリアルから数えてSGV5まで全てがナイター。"夜王"が改めて強さをアピールした。

「大村は整備でエンジンを立て直せて、チャンスをモノにできました」

続く児島ダービーでSG連続優勝。レース後、師匠の江口晃生に「強かったぞ」と声をかけられると涙がほおを伝った。

「師匠の前でSGもGⅠも勝てなかった。グランプリを取るまでは泣かないと決めていたけど、ハグしてもらって涙腺が緩んでしまった」。SG6回目の優勝は初の昼開催。太陽の下でも力強い輝きを放った。

GP奪取が目標

「昨年は多少なりともいろいろな思いがあったんですけど、今年は自分でもびっくりするくらい重圧はない。やることをやってきた。体も完璧に仕上がっています。毎年、グランプリのためにやってきたけど、もう取るのが目標と言ってもいいですよね。それに向けて頑張ります」

控えめな男の最大限のV宣言と言っていい。悲願の頂点へ、機は完全に熟した。初のナイターグランプリは譲らない。

◆毒島誠・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	6 4 1 3 3 1 [6] 1 ②
オールスター	福岡	6 3 3 4 4 2 2 1 1
グラチャン	多摩川	3 2 4 2 3 1 [6] 4 ④
オーシャンC	とこなめ	2 2 3 1 2 1 [1] ❸
メモリアル	大村	2 1 2 2 1 6 [1] ❶
ダービー	児島	6 1 1 3 2 3 [1] ❶
チャレンジC	桐生	1 5 2 2 5 4 [2] ❸

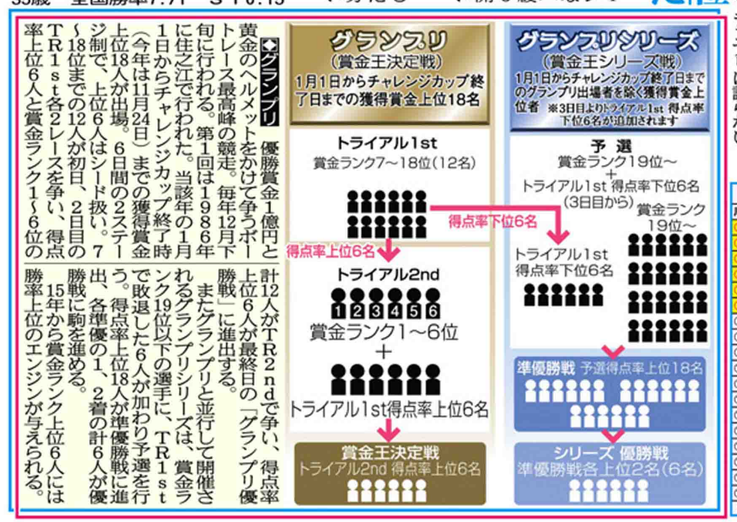
35歳　全国勝率7.71　ＳＴ0.15

◆グランプリ

優勝賞金1億円と黄金のヘルメットをかけて争うボートレース最高峰の競走。毎年12月下旬に行われる。第1回は1986年に住之江で行われた。当該年の1月1日からチャレンジカップ終了時（今年は11月24日）までの獲得賞金上位18人が出場。6日間の2ステージ制で、上位6人はシード扱い。7～18位までの12人が初日、2日目のTR1st各2レースを争い、得点率上位6人と賞金ランク1～6位の計12人がTR2ndで争い、得点率上位6人が最終日の「グランプリ優勝戦」に進出する。

またグランプリと並行して開催されるグランプリシリーズは、賞金ランク19位以下の選手に、TR1stで敗退した6人が加わり予選を行う。得点率上位18人が準優勝戦に進出、各準優の1、2着の計6人が優勝戦に駒を進める。

15年から賞金ランク上位6人には勝率上位のエンジンが与えられる。



◆グランプリ歴代優勝者◆

回	年	開催地	優勝者
①	1986	住之江	彦坂　郁雄
②	87	住之江	安岐　真人
③	88	住之江	野中　和夫
④	89	住之江	福永　達夫
⑤	90	住之江	高山　秀則
⑥	91	平和島	松田　雅文
⑦	92	住之江	野中　和夫
⑧	93	住之江	野中　和夫
⑨	94	住之江	中道　善博
⑩	95	住之江	植木　通彦
⑪	96	戸　田	植木　通彦
⑫	97	住之江	服部　幸男
⑬	98	住之江	太田　和美
⑭	99	住之江	松井　繁
⑮	2000	平和島	市川　哲也
⑯	01	住之江	田中信一郎
⑰	02	住之江	植木　通彦
⑱	03	住之江	田中信一郎
⑲	04	住之江	田中信一郎
⑳	05	住之江	辻　栄蔵
㉑	06	住之江	松井　繁
㉒	07	福　岡	吉川　元浩
㉓	08	住之江	井口　佳典
㉔	09	住之江	松井　繁
㉕	10	住之江	中島　孝平
㉖	11	住之江	池田　浩二
㉗	12	住之江	山崎　智也
㉘	13	住之江	池田　浩二
㉙	14	平和島	茅原　悠紀
㉚	15	住之江	山崎　智也
㉛	16	住之江	瓜生　正義
㉜	17	住之江	桐生　順平
㉝	18	住之江	峰　竜太

◆SG第34回グランプリ出場選手◆

順	選手名	支部	獲得賞金額
①	毒島　誠	群馬	1億4961万円
②	吉川　元浩	兵庫	1億2470万6000円
③	石野　貴之	大阪	1億1872万5666円
④	峰　竜太	佐賀	1億　717万8000円
⑤	桐生　順平	埼玉	9820万円
⑥	瓜生　正義	福岡	9439万4000円
⑦	柳沢　一	愛知	8864万7410円
⑧	井口　佳典	三重	8433万1266円
⑨	馬場　貴也	滋賀	8201万6932円
⑩	白井　英治	山口	8058万7000円
⑪	田村　隆信	徳島	7931万8000円
⑫	徳増　秀樹	静岡	7292万2000円
⑬	菊地　孝平	静岡	7090万7000円
⑭	太田　和美	大阪	7046万2000円
⑮	池田　浩二	愛知	6955万円
⑯	今垣光太郎	福井	6748万7000円
⑰	平本　真之	愛知	6588万4400円
⑱	茅原　悠紀	岡山	6366万1000円

※上位6選手はＴＲ２ｎｄから出場。賞金は選出時。

GP special

GP SPECIAL

吉川 2位

2年連続5回目

SG2冠の底力

序盤の話題独占

平成から令和へ、時代をまたいだSG連続優勝で、今年序盤の話題を独占した。吉川は3月の戸田クラシック、5月の福岡オールスターを制覇。「（SG連続Vは）いいエンジンを引けたし、調整も合わせられた。でも8月にフライングをしてからはリズムが悪い」

華々しかった上半期の活躍とは一転、下半期は下降線。ひとつのスタート事故が与えるマイナスを痛感する。それでも「（チャレンジC中のフライング休みはいい休みになったと、今は前向きに考えている」と悪い流れをリセットする。↘

↖9年ぶり4回目の出場だった昨年は悔しさと疲労感だけが残った。TR1stを勝ち上がったものの、TR2nd最終戦で6着。勝負どころで大敗を喫し、決定戦出場を逃した。

「むちゃくちゃ悔しかった。5着でも乗れたし、1着なら1号艇もあった。思えば結局、調整を合わせられていなかったのだと思う。エンジンはよかったけど、ずっと乗りづらさがあった。それと休み明けがいきなりグランプリなのは精神的にしんどかった」

今年はF休み後、GPまで2節走れるだけにプランクの心配はない。賞金ランク2位でTR2nd初戦は絶好枠だ。

「枠もそうだし、いいエンジンを引けるのも大きい」

再び黄金ヘルを

2007年のグランプリ初出場Vから12年。確実に世代交代の波は押し寄せる。「峰のエンジン出しはすごいし、桐生のターンもすごい」と前回、前々回覇者でもある"ヤングジェネレーション"に敬意を示すが、もう1回、黄金ヘルを狙う」ときっぱり。

輝きを取り戻した"兵庫の主砲"が再び、てっぺんに立つ。

◆吉川元浩・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸　田	2 2 1 4 1 3 [1] ❶
オールスター	福　岡	1 1 1 1 3 4 [1] ❶
グラチャン	多摩川	6 3 2 2 3 2 [3] 5 ②
オーシャンC	とこなめ	2 1 1 3 4 2 [4] 3 ①
メモリアル	大　村	2 5 4 5 1 2 [3] 1 ③
ダービー	児　島	5 5 3 1 5 3 6 6 6
チャレンジC	桐　生	不出場

47歳　全国勝率7.66　ＳＴ0.14

※日付は優勝戦

17日 住之江11R トライアル1st1回戦

連番	選手名	年齢	級	支部	昨年成績	当地前回成績	今年の優出・優勝
6	平本　真之	35	A1	愛知	不出場	18年GⅠシリーズ 5 6 4 6 1 2 2 2	V 4 15優出
5	今垣光太郎	50	A1	福井	不出場	19年高松記念 2 1 2 5 1 1 [6]	V 3 13優出
4	菊地　孝平	41	A1	静岡	3 2 2 3 3 [6]	19年3月一般戦 1 6 1 2 1 [3]	V 3 8優出
3	徳増　秀樹	45	A1	静岡	不出場	19年高松記念 2 6 1 3 2 2 [3]	V 4 17優出
2	馬場　貴也	35	A1	滋賀	1 1 6 1 6 [2]	19年高松記念 3 3 1 3 2 6 [5]	V 7 15優出
1	井口　佳典	42	A1	三重	2 4 1 [4]	19年高松記念 4 6 1 2 6 4 3 3 4	V 3 12優出

17日 住之江12R トライアル1st1回戦

連番	選手名	年齢	級	支部	昨年成績	当地前回成績	今年の優出・優勝
6	茅原　悠紀	32	A1	岡山	不出場	19年高松記念 3 1 6 3 転 1 3 1 1	V 3 8優出
5	池田　浩二	41	A1	愛知	4 6（シリーズ回り）	18年グランプリ 6 シ 1 3 5 3 [5] 1	V 8 10優出
4	太田　和美	46	A1	大阪	5 1（シリーズ回り）	19年高松記念 6 1 1 2 5 5 1 [2]	V 2 10優出
3	田村　隆信	41	A1	徳島	不出場	19年高松記念 2 2 1 2 4 1 [1]	V 3 13優出
2	白井　英治	43	A1	山口	3 2 2 [3]	18年グランプリ 3 2 2 [4]	V 8 18優出
1	柳沢　一	38	A1	愛知	不出場	19年高松記念 5 2 6 3 4 3 2 4 1	V 4 6優出